

# 業界の

# 声



● 有限責任中間法人 山梨県木材協会

理事長 戸栗 敏氏

## 業界の現況は？

山梨県は、県土の78%を森林が占める「森の国」です。これらの森林がもつ地球温暖化防止や県土の保全、水源のかん養などの多様な機能は、私たちが安全・安心で快適な生活を送っていく上で重要な役割を果たしています。私たちの業界は、「経済活動を推進することによって環境に貢献できる」。そのため、将来を担う子供たちの親として誇りを持って仕事をすべき、そんな仕事だと感じています。

しかし、外材の普及、住宅関連の景気悪化等により、業界を取り巻く環境は時代とともに大きく変化し、組合員の中には、経営の効率化、後継者問題などの悩みを抱える事業者も少なくありません。

## 今後の展開は？

前述するように、現在の業界は厳しい時代を迎えています。そんな中、今年度、私たちは「県産材をはじめとする木材の利用促進」を目的に、建築士、工務店、製材事業者、素材生産者、環境関連事業者、その他異業種の方々が幅広く集まり、ネットワークを構築する、「有限責任中間法人山梨県木材協会」を設立しました。

今までの業界は、木材に関わる業者が個々に動き、また価格等の取引関係上、なかなか相容れない部分もありました。しかし、それでは県外から進出するハウスメーカー等に到底太刀打ちできません。そこで、私たち山梨県木材協会が県内業者の橋渡しの役割を担い、県産材を使った山梨の業者による建物造り等が可能になればと願っております。

今後は、県産材の品質向上、流通整備、トレーサビリティ（県産材認証）等の安定供給事業、経営サポート、普及啓発ビジネスマッチング等の県産材の需要創出事業を通して、山梨県の木材業界の発展に寄与していきます。



県産材のプレカット加工現場